

吉野ヶ里町の観光振興施策に イタリアでの研修をどう生かすか

吉野ヶ里町商工観光課 中島 章太

1

吉野ヶ里町の観光振興における課題

- ・特産品が無い
- ・ブランドイメージ= 吉野ヶ里遺跡のみ

2

吉野ヶ里町の観光振興における利点

- ・人口の多い佐賀市や鳥栖市、福岡県から近い
- ・交通の便が良い

3

イタリアでの学び

- ・土地の特色や歴史を活かし、観光資源にすること。

4

吉野ヶ里町

- ・土地の特色＝ 脊振山の美しい自然
- ・歴史＝ 日本茶樹栽培発祥の地

これらを活かした観光施策とは？

5

吉野ヶ里町

- 「食」…… 特產品「脊振ジビエ」猪肉
- 「景觀」…… 脊振山の中腹にある靈仙寺と茶園

6

①「脊振ジビエ」猪肉

様々なPRイベントを開催し、「脊振ジビエ」を様々な料理で食べてもらうことで味の面白さや料理の可能性について消費者に伝える。また、それを目当てに吉野ヶ里町を訪れてもらうようとする。

例

- ・期間限定飲食店脊振ジビエメニュー提供
- ・脊振ジビエ肉フェス
- ・脊振ジビエ料理コンテスト

7

②「脊振山の中腹にある靈仙寺と茶園」

靈仙寺は現在、乙護法堂と茶畠が残っており、本堂は修復が完了したところである。今後観光地としてPRしていくことで、靈仙寺に来てもらいその歴史を体験してもらうとともに、脊振山の中腹からの眺めを楽しんでもらうようとする。

例

- ・聖茶祭りを中心とした観光PR
- ・栄西茶関連商品開発
- ・栄西茶に関連したイベント

8

